

東京農業大学



湘南稲桜会だより

発行 東京農業大学 校友会神奈川県支部 湘南稲桜会 発行責任者 松居靖雄
事務局 〒238-0032 横須賀市平作4-1-9 清水圭一方 TEL 046-854-0044

＜平成26年度研修会＞

研修会に行ってきました

下嶋武志 昭和45年 造園学科

熱暑も去った綿雲浮かぶ秋晴れのもと平成26年10月25日(土)21名参加で研修会出発。

最初に昭和36年開園、48.6ha余の神代植物公園に着き、団体・高齢者割引などで入園、三班に分かれ各々ガイドの説明を受けながら見学。

園路沿いの木々が木陰をつくり、カツラの黄色い実が芳しかった。神代あけぼのという名の桜もある。

パンフレットは二十数種類の樹木、花卉の花期が載せてあり、裏面の公園案内図も広い園内の現在地の確認に役立った。



ばら園では明日までのバラフェスタ期間中で、大

輪の多くの品種のバラが咲き、見学者で混んでいた。

バラの原種は京成バラ園の鈴木省三氏が収集。

コウシンバラは中国原産、花は一重で香辛料の香りがある。当会女性似のモッコウバラは香りある白い花でトゲがない。(失礼)

稲桜女史 君はバラより 美しい

バラはとげがあるからよいとの大先輩の言に、神仏に問えば

トゲ抜けば オレの仕事と 菩薩謂い

(巣鴨の地蔵菩薩談)

続いて植物園の隣り、天台宗の深大寺へ乾門から入り参拝、昼食は深大寺そばを啜った。

次に緑に囲まれたファミリースポーツ公園の都立府中の森公園(面積17.1ha)を散策した。入口からほんの一角を歩いて疲れ休憩、樹間のバーベキュー広場では半袖姿で数組が、鉄板を囲み談笑していた。

デング熱 忘れ夢中で バーベキュー

最後に昭和38年に誕生したサントリー武蔵野工場へ。

全国で同社として最古の施設、敷地は東京ドーム8個分、従業員300名である。

90分間のザ・プレミアム・モルツ講座を受講。25年前に山本隆三氏がモルツ・スーパープレミアムを開発した。

使用材料は、チェコのダイヤモンド麦芽、ザーツ産ファインアロマホップ、天然水100%などである。



ビールの飲みごろは5℃前後、ビールと泡は7:3が黄金比である。

酵母は生き物なので、醸造技士は交代で24時間見ている。

閑話休題

醸造技士は日本酒の杜氏と同義か。

酒造り職人を杜氏といい、酒造りの創始者杜康の名からついたという説があるが、これは当て字であり、とおじはやまとことば（大和言葉）で主婦の酒造りから付いたとの説もある。

試飲は控えめに抑え、静かになりに予定通り無事返子帰還。有難うございました。

<会員の活動紹介>

私の野菜作り

大川晶子 昭和52年 農芸化学科

小さな畑を始めて、15年が経ちました。義母の実家が小田原の果樹園で義母は私に、相続した畑のみかん栽培を続けることを頼みました。学生時代、園芸学の八木沢先生から果樹の剪定を教えていただいた覚えはありましたが、不勉強で身に着いていなかったことを後悔しました。私はとても難しそうですと断って、野菜作りをさせてもらおう事にし、みかんの木を伐採し根出してもらい畑作りをスタートさせました。



家庭菜園というには少々広すぎる100坪弱の土地を主人と二人クワ1本で耕し始めました。初めは夏の暑さと雑草に泣き、往復3時間以上の道中の渋滞に往生し、いつ迄続けられるか不安でした。

その後、月2回は友人3人が手伝いに来てくれるようになり、ミニ耕運機を買い、農機具や肥料を置く小屋を譲り受け、翌春から少しずつ軌道に乗り始めました。

畑が自宅から遠い為、まめに世話ができなくてもよい作物ということで、ジャガイモ・サツマイモ・玉ネギ・大根をメインに作り、作付け場所を毎年順にずらし、ローテーションして連作障害がでにくいよう工夫しています。畑に水がない為、夏の果菜類は難しいのですが、次第に種類を増やし、毎年50種類程の野菜を収穫できるようになりました。

15年続いた理由は

- ①自分で作った採りたての野菜がおいしいこと：ほぼ有機肥料のみ使うので甘みがあり、香りが強く、無農薬なので虫食い穴はあっても安心して食べられます。（特にゴボウのおいしさにビックリ！）
- ②ご近所や友人に配り、おいしいとほめられ喜ばれること。
- ③栽培の工夫をして、収穫の質と量を共に良くする楽しみがあること。
- ④作った野菜を加工する楽しみがあること：沢庵・ベッタラ漬・干し野菜・ジャム・ハーブティー等。
- ⑤野菜の花が美しいこと：ゴマ・シカクマメ・オクラ・ジャガイモ・ゴボウ等、清楚で凛とした美しさに心惹かれます。
- ⑥季節を敏感に感じられるようになったこと：二十四節気七十二候を知り、季節と共に植物と対話し、私も昆虫・小動物・鳥たちと共生しているのだという実感が持てます。自然に対する感謝が沸いてきます。

今後も畑仕事をしながら、自分の心を耕し続けたいと思います。

<地区からのたより>

—横須賀地区から—

愛する飲み屋さん

澤地 理 昭和49年 農学科

皆さんの頃はどうかだったでしょうか？

自分は、昭和49年に職についた時は学生気分が抜け切れておらず、終業と同時に職場を飛び出し、仲間と夜な夜な飲み明かしたものです。

京浜急行電鉄の横須賀中央駅の脇の一角には、今も昭和レトロの雰囲気漂う若松マーケットなる飲み屋街が今も立ち並んでおり、夜ともなるとネオンが輝き、昔を思い出す雰囲気があります。しかしながら今は、不景気の波に飲み込まれたのか、足しげく通ったお店はもう無く、少々寂しい気持ちもあります。

横須賀は昔海軍の拠点であり、また現在は自衛隊の拠点であることから飲み屋はいたるところに存在しております。北には、追浜・田浦、南には久里浜、西には衣笠と飲む場所には不自由しない所です。

在職中に仲間とよく通った店は、女将が亡くなり今は店もありませんが記憶に残る、愛する店でした。その店の女将は、以前横須賀にも何軒もあったキャバレーの一つに勤めていて、たいそう人気があったと聞いています。ただ事実かどうか不明です。

女将は、キャバレーの務めを幾つで辞めたか分かりませんが、その後は2坪程の小料理店を開業しました。気性は男っぽく、気風のいい性格はわれわれ仲間も気に入り、ほぼ毎日仕事が終わるとせつせと足を運び、女の子の話や仕事の話等々楽しいひと時を過ごしたものです。他の店で飲み、酔っていても

立ち寄り、お酒の代わりに水だけを注文してもいやな顔一つ見せませんでした。

当然ではありますが、女房もこの店には連れて行っており気に入った様子です。

このような良き時間を過ごしたことから、先日当時の仲間と杯を交えたとき「ひとつ今後は長年商売を続けている店を見つけて飲む」ことを提案したところ、皆も大いに賛成をしてくれました。



いつまで飲み歩くことができるかわかりませんが、差し当たりまず地理的によく知っている横須賀中央界隈から始め、市内に点在する人情あふれる、愛する飲み屋探しに出かけようと思っております。

皆さんも近くにある、愛する飲み屋さんに出かけてみてはいかがでしょうか？

<寄稿>

母校の春は桜色、そして刀装具の鍔にも桜紋様

菱沼良平 昭和48年 経済学科

農大、馬事公苑周辺は、春にサクラが楽しめる。農大一高正門から農大経堂門の歩道沿いに「河津桜」5本、「ヒガンザクラ」2本、「ソメイヨシノ」4本、「山桜」、「ハクモクレン」各1本がある。「河津桜」は、2月末から蕾が膨らみ3月1日頃に一分咲き、6日には7分咲きとなる。「河津桜」の真向かいには世田谷区保存樹木サクラ古木が3本、風格のある樹幹を誇っている。近隣の馬事公苑覆馬場にも「河津桜」が咲く。

農大経堂門内に「シダレザクラ」（短大記念植樹の碑あり）が枝振りを見せている。グラウンド周囲は、「ソメイヨシノ」の並木が見事で、夜桜も映える。「八重桜」も楽しめる。12月に咲く「ヒマラヤザクラ」は、グラウンド東側に移植されている。

さて、桜の花の紋様は、絵画、調度品等に象られるが、それらの鑑賞も楽しい。

小生と親交がある浅田氏（前職、日本大学勤務）は、『桜花鍔』と命名の単行本を執筆、愛蔵鍔（日本刀の鍔で絵柄が桜花）の写真や貴重な文献（蒐集鍔73枚の花模様や鍔銘などを解説）を紹介している。

小生にも初版本が謹呈された。春を迎えるたびに工芸の粋を堪能している。



刀装具の鍔は、3寸の円、方形に作者独自の工夫と景観が籠められている。甲冑師による無骨ながら実用の鍔、彫金、金象嵌の技を尽した美術工芸品に至るまで、花王の桜尽くしである。さらに、『桜花鍔』には、桜に因む和歌が多首掲載されている。

古来から花といえば「さくら」といわれるが、その中から数首を転載させて頂く。

◎湘南稲桜会の所在地域は、海、波の景色があるので、こじつけながら一首

日の本の桜のあらし吹きにけりさと(さとの)の海
の花のしら波 与謝野鉄幹

◎有名な和歌を一首

世の中にたえてさくらのなかりせば春の心はのど
けからまし 在原業平

◎古都鎌倉の歴史を感じて一首

みよし野の山にこもりし山人や花をばやどの物に
見るらん 源実朝

◎季節は春ばかりではない、四季折々ということから一首

春は花夏ほととぎす秋は月冬雪さえて冷しかりけり
道元

<寄稿>

土石流後の伊豆大島を訪ねて

下嶋武志 昭和45年 造園学科

平成27年1月20日から4日間、伊豆大島の岡田地区大金沢へ測量に行った。

1年余り前の平成25年10月16日真夜中に26号台風通過、時間最大122mmの大雨により発生した三原山上部からの土石流は死者33名不明3名の人的被害を残した。沢筋の道路は決壊、建物はコンクリートのたたきを残し他は全て流され流域一帯は茫漠とした光景だった。

間近まで流木が来た土産店主の話では午前1時ごろ3回に亘り土石流が襲った模様である。

深夜から夜明けまでの就寝時におきる災害が多く、今回もその例に倣った点と風雨の中での避難の難しさがある。筆者は40年前時間雨量57mmの中作業服にヘルメット姿で三崎の街を歩いたが、雨滴が顔に痛く息苦しさを憶えた。大島はその2倍以上の豪雨で想像を絶する。更に時間雨量の世界記録は422mmで気象学的には、降水量に上限値は存在しないと考えられている。※注

避難時期、先など検討課題も多いのではないかと。台湾での深層崩壊による土石流では山が崩れ、避難先の学校が埋まって大被害も起きている。

現地は最下流に応急砂防ダムと仮付替道路等は済み、今後山腹工、砂防ダム、導流工などを計画、そのための土地立会いを行った。

本格的復旧は端緒についたばかりで、不明3名の捜索打切りには遺族の感情のわだかまりもあり、犠牲者の冥福と早期復旧を祈った。

財政豊かな東京都の尽力による迅速な復旧への期待と裸地となった二次林の植生遷移、復元なども今後注視して行きたい。



寒椿 過酷な遷移 幾度か

朝8時から夕方までの仕事を終え、旅館への帰途事前連絡した都立大島高校へ寄った。放課後の会議の後部活動前の短時間会っていただいた。横須賀市出身の稲桜会会員である齋藤道生先生は、大島高校着任以来8年経ち受け持ちは農林科で農業と畜産(鳥)を1~3年生7人に教えていられる。全校生徒は120人余り。島内には波浮の海洋高校との2校がある。

部活動は週1回木曜日(御神火)太鼓を指導中である。通勤は歩いて5分、教職員住宅にお子様3人と夫妻で住まわれている。毎年の総会出欠席の知らせは欠かさず几帳面で律義な先生の人柄を彷彿とさせていたが、初めてお会いできて若く澁刺とした印象と元気な姿に接し安心しました。

今後の御家族の健康と御活躍、またいずれ都内への転勤時にはお会いできることを念じ辞した。

土石流 去って太鼓の音も悲し

合掌

※注「技術水門学」岡本芳美著 日刊工業新聞社刊

<寄稿>

農協改革について

小清水征雄 昭和39年 畜産学科

政府が今国会に重要法案として安全保障法制と農政では60年ぶりに農協の組織形態の見直しに係わる(農協改革)が提出される、農協の組織力を弱めるものである、ここに至るまでの経緯は次の通り。

①2014年5月 政府の規制改革会議・農業ワーキンググループが「農業改革に関する意見」を発表全中(全国農業協同組合中央会)の廃止、全農(全国農業協同組合連合会)、厚生連(全国厚生農業協同組合連合会)をそれぞれ株式会社、社会医療法人に組織変更可能 ②同6月 政府は「規制改革実施計画」を策定 ③同11月 JAグループが自己改革を発表 ④15年2月 政府が農協改革の制度等の骨格を決定 本通常国会で農協改革法案を提出、審議

改革の主な内容は ①組織のあり方 ②JAの監査 ③経営破たん未然防止機能 ④理事の資格要件 ⑤准組合員制度 ⑥農協の事業目的 ⑦全農・経済連 ⑧厚生連。全国に694(2015.1.27現在)あるJAを束ねる全中は農協法(農業協同組合法)に規定している監査権の根拠規定をなくし経団連、全国銀行協会と同様の一般社団法人に移行する(19年3月31日まで)全中は地域農協に対して指導・監督権を持っているが、改革案では削除することになる。

ここでは ②JAの監査の問題点について触れる。

全中が実施する単位JAへの監査は経営の健全性を点検する「会計監査」に加え、事業の「業務監査」も対象にしている。改革ではこれらの監査をJA全中から切り離れたJA監査機構もしくは一般の監査法人の選択制にする。監査法人では会計監査のみであり、公認会計士による監査法人を選択した場合には財務内容が適正に処理されている旨の監査報告のみで経営の健全性については触れない。全中監査では経営リスクを監査の過程でつかみ監査指導を系統機関である農林中金、共済連、全農等と情報を共有し経営指導を実施している。又、監査費用も農協連合会が50%負担し単位JAの負担は軽減されているが、今後は監査法人を選択した場合には監査報酬は高額になる可能性がある。

今国会に政府が提出するまでに統一地方選への影響も考慮し又、政府与党で十分議論されていない事もあり微調整があるとしても農協法改正骨子案は政府提出のもので決着する見込みである。

<地区の活動 鎌倉地区>

臼井 浩 昭和41年 林学科

昨年秋季研修会実施のおり先年来夏季に催されている逗子・葉山地区の交流会に続き、当地区においても交流会を試行してはどうかという提案がなされ去る11月8日(土)に初会合の運びとなりました。晩秋にかかる寒い一日ではありましたが、流石に週末の観光地に相応しい賑わいを見せていました。開催

場所は鎌倉駅前小町通り入り口の「和民」にて10名が参加しました。日ごろ総会や研修会に参加できなかった2名も加わり、互いに懐かしい学校生活当時の話題にタイムスリップシアットという間(2時間余)の流れとなりました、これもひとえに当幹事諸氏の御力添えの「賜」と感謝をしております。



尚、新しい会員の加入の促進の一環としての今回の開催は恒例の総会や研修会とはまた一味違うスタイルをもって、今後とも是非続けて行けたら「幸甚」です。

＜校友会神奈川県支部並びに県下他地区校友会の動向＞

東京農業大学校友会神奈川県支部(神奈川県校友会)役員会が12月7日(日)に開催された。議題は、「神奈川県校友会会則の一部改正について」、「校友会本部代議員の選出について」、「その他」であった。会則の一部改正について事務局から提案されたが、会の名称等全体を見直す必要があるとの意見があり、別途検討委員会を設置することとなった。今後、検討委員会の結果を役員会、総会にて承認されれば会則の改正がなされる。神奈川県校友会の総会は隔年であり、今年が開催年です。(日時未定)多くの会員の参加をお願いします。

西湘常磐松会

平成26年6月14日 小田原万葉の湯
総会、懇親会

湘南なぎさ会

平成26年7月5日 藤沢市民会館
総会、講演、懇親会

横浜北支部

平成26年10月4日
親睦会

以上について松居会長が参加し他地区校友と情報交換を行った。(事務局)

＜会費納入と新会員の加入勧誘のお願い＞

日ごろより会の運営に対し、ご支援・ご協力をいただき有難うございます。
当会では、年2回の会報「湘南稲桜会だより」の刊行、研修会の開催、総会での

講演会、箱根駅伝応援等を皆様方からの会費や寄付によって行っておりますが厳しい状況になりつつあります、今後も活発な活動ができますよう引続き会費の納入をお願いいたします。

また、校友会活動の活性化を図るため会員の加入促進に取り組んでおりますが新規加入者があまりありません。将来的に湘南稲桜会が維持発展してゆくには新規会員の加入が急務であります。このためには皆様方の力が必要です、お知り合いの方に声をかけて加入をすすめて下さい。 校友の絆と伝統ある湘南稲桜会の無限の発展のため是非皆さま方をお願いいたします。入会案内のチラシが事務局にありますので必要な方はお知らせ下さい。(事務局)

＜東京農業大学校友会のホームページ＞

校友会の活動、全国の各支部の活動、校友同士の活動などを知ることができます大変見やすくなっておりますのでぜひ一度ご覧下さい。

「各支部の活動」の神奈川県を見ていただくと、湘南稲桜会だよりの31号・32号・昨年の研修会について見るができます、当会の行事のお知らせをこれからも載せていきますので時々チェックしてみてください。(事務局)

<http://www.nodai-koyukai.jp/branch/kanagawa/>

＜会員からのたより＞

研修会出欠席回答はがきに寄せられた会員のたよりをお伝えします。

敬称略(事務局)

(横須賀地区)

・石橋 順作(S34 学林)

元気です。毎日散歩しております。

・寺井 俊介(S35 学化) 奥様から

先日はお電話を有難うございました。主人も訪問看護師さんその他の人の力を借り楽しく過ごしております。お昼は好きなものを食べています。「稲桜会だより」懐かしそうに見ていました。

・廣濱 徹(S41 学造)

幹事のお仕事ご苦労様です。久しく家内も参加しますのでよろしくお願ひいたします。

・酒井 利明(S48 学造)

川柳句会がありまして、参加できません申し訳ありません。

・渡辺 和子(S50 学栄管)

湘南稲桜会だよりいつも楽しく読ませていただいております。同級生の関恵梨子さんの御活躍うれしく思いますし、個展の開催おめでとうございます。研修会等いつも欠席で申し訳ありません、主人(修平)は三浦市観光協会、私は学習塾でまだ仕事頑張っています。

- ・湖水 康史 (S62 学農)
今年は大きな台風が二つも続けて来て苦労して
ます。今のところ大きな被害は無いですが農作
業が10日くらい遅れています。
- ・中山 大海 (H3 学農)
夏に行った台湾で財布を落としました。数万円
の現金が入っていましたが、仕方ないと諦めて
いると数日後現地の友人を通じて見つかったと
連絡が入りました。お金も免許証も全て残って
おり、あらためて台湾という国が好きになりま
した。
- ・堀江 有二 (H3 学林)
久しぶりに参加したいと思っていましたが仕事
が入ってしまい参加できなくなってしまいました
、残念です。皆さまお変わりはありませんか？
最近腰痛がよく出るようになってきました。で
も動いていないと体がなまってしまうので通勤
等歩けるところはがんばって交通手段は使わな
いようにしています。

(鎌倉地区)

- ・渡邊 亘 (S23 学化)
高齢による体調不良のため欠席します。
- ・酒井 保 (S26 専化)
研修会の案内ありがとうございます。体調不
良のため欠席いたします。盛会でありま
すように。
- ・梅澤 稔 (S33 学農)
退任してから皆様とお会いできることを楽しみ
にして参加いたします。
- ・嶋村 勝美 (S39 学化)
よろしくお願ひいたします。
- ・白鳥 武秀 (S39 学化)
残念ですが欠席致します。
- ・磯谷 ゆり子 (S48 学栄)
毎年楽しい研修先を企画して下さいまして楽し
く参加させていただいています。
- ・小泉 権史知 (S59 学拓)
申訳ございませんが欠席させていただきます。

(逗子地区)

- ・鈴木 久彌 (S33 学農)
色々とお世話様です。楽しみにしています。
- ・佐藤 誠吾 (S37 学農)
申訳ありませんが欠席します。用件が重なっ
てしまい残念です。秋の楽しい一日になり
ますように。
- ・関 恵梨子 (S50 学栄)
食生活改善推進団体、若宮会の50周年の式典・
祝賀会が終わってホッとしています。白内障っ
て言われています。忙しくて3日間の手術の日
を決めるのに迷っています。
12月クリスマスあたりを予定。

(三浦地区)

- ・川名 昌雄 (S48 学農)
学校行事と重なっているため今回も欠席となり
ました。皆さんで楽しく良い研修会になります
ように。
- (葉山地区)
- ・水留 亨 (S44 学造)
残念ですが欠席させていただきます。
 - ・下嶋 武志 (S45 学造)
夫婦で参加させて下さい。
 - ・根岸 稔 (H4 学農)
都合がつかず欠席します。バーベキュー参加で
きずすみません。

**平成27年度定期総会(第19回)
のお知らせ**

平成27年度定期総会を下記のとおり開催いた
します。会員の皆様のご出席をいただきたくご
案内申し上げます。

記

1. 日 時 平成27年5月23日(土)午後2時
～6時
2. 会 場 ホテルハーバー横須賀
横須賀市汐入町2-7 電話 046-822-0001
3. 議 事
(1)平成26年度事業報告ならびに収支会計報告
について
(2)平成27年度事業計画ならびに収支予算案
について
(3)その他
4. 記念講演
「鶴岡八幡宮の大いちょう倒伏復元と段葛の
全面改修について」
東京農業大学造園科学科 濱野周泰教授
5. 懇親会 参加費 7,000円
準備の都合がありますので、お手数ですが出欠
のご都合を同封のハガキにて5月7日までにお
知らせください。(詳細は別途ご案内いたしま
す。)

<編集後記>

稲桜会だより32号をお届けします。紙面では会
の活動、会員の活動紹介、動静など会員相互の親睦と
情報の共有を図るため当初より年2回発行していま
す。編集委員会では今後より一層の紙面充実をめざ
し会員の皆様からの多くの投稿をお待ちしておりま
す。就業内容、学習、趣味、ボランティア活動、自
家菜園等その様子をお寄せ下さい。(M.K)